



駐屯地夏祭り



3 施太鼓演奏



打ち上げ花火



盆踊り



装備品展示



装備品展示



史料館開放

令和4年8月5日（金）、大久保駐屯地夏祭りを3年ぶりに開催することができました。盆踊り、打ち上げ花火、3 施太鼓の演奏、駐屯地史料館の開放に加え、今年は装備品展示も行いました。待ち望んでおられた多くの地域の皆様のご来場を頂き、最後の打ち上げ花火で盛況に終えることができました。これからも大久保駐屯地は、地域の皆様にご来場を頂き、最後の打ち上げ花火で盛況に終えることができ、改めて、ご来場ありがとうございました。来年も皆様のご来場を心よりお待ちしております。



第30回大久保駐屯地司令杯少年野球大会



連盟表彰



司令表彰



決勝戦の状況



優勝メダル贈呈



準優勝「広野ジュニアーズ」



優勝「精華アトムズ」

令和4年8月27日（土）から第30回大久保駐屯地司令杯少年野球大会が開催されました。コロナの影響により2年ぶりの開催となりましたが、29チームが参加して日々熱戦が繰り広げられました。勝ち進んだ精華アトムズと広野ジュニアーズの9月25日（日）の決勝戦では、精華アトムズが9対5で勝利を掴み、見事優勝しました。最後まで諦めず努力した選手の栄光を讃えるとともに、大会運営の方々、保護者の皆様に感謝申し上げます。

発行：大久保自衛隊協力会
陽融会
大久保駐屯地桃友会
45会
編集：第4施設団本部
第1科広報班
印刷：進見堂印刷

駐屯地司令要望事項

即応と信頼

紙面紹介

- 1 面
- ・駐屯地夏祭り
 - ・第30回大久保駐屯地司令杯少年野球大会
 - ・京都府防災訓練
 - ・大久保曹友会ボランティア活動
 - ・優秀隊員褒章
- 2 面・3 面
- ・各部隊訓練等記事
- 4 面
- ・部隊長随筆
 - ・最先任の一言
 - ・新隊員後期教育
 - ・定年退官者紹介
 - ・大久保駐屯地漫画喫茶「菟道」(うじ)
 - ・編集後記

京都府防災訓練



令和4年7月末に大久保駐屯地曹友会の会員とその家族34名が参加し、令和4年度1回目の駐屯地周辺の清掃活動を実施しました。清掃中は、地域の方から温かい激励のお言葉を頂き、充実感とやりがいを感じながら活動することが出来ました。今後も地域社会に貢献します。



優秀隊員

第109教育大隊長褒賞
第3施設大隊本部管理中隊
3等陸曹 鷹森 香菜
(たかもり かな)

大久保曹友会ボランティア活動

第3施設大隊本部管理中隊の鷹森3曹は、第314共通教育中隊第1教育隊が担任する、令和4年度自衛官候補生課程教育の助教としての功績により令和4年7月6日（水）、第109教育大隊長から褒賞されました。助教を経験して得たものを今後の自衛隊生活で活かしていきます。

自衛隊は、警察・消防などと連携し、要救助者の捜索・救助・搬送の訓練を行いました。様々な災害に対応できるように教訓を蓄積し、関係機関との連携強化を図り、地域の皆様の安全確保に努めます。



要救助者の捜索



訓練開始式



知事と司令の意見交換



要救助者の搬送

各 部 隊 訓 練 等 記 事



打ち上げ花火の準備



照明の景況



ドローン使用前の点検・確認



橋梁(自走架柱橋)の通過



検温実施状況



売店の景況



燃料給油



指揮所用軽掩蓋掩壕の構築

第 7 施 設 群

第7施設群は、令和4年7月上旬から、第382施設中隊及び偵察班に対して、8月下旬から、第380施設中隊及び補給班に対して、それぞれ令和4年度群訓練検閲を実施しました。

第382施設中隊は、防衛支援に任ずる施設中隊として、自走架柱橋の架設、陣地構築及び障害構成任務を、偵察班は、部隊の前進経路及び作戦地域の偵察任務を遂行しました。

第380施設中隊は、防衛支援に任ずる施設中隊として、陣地構築任務を、補給班は、補給・輸送任務を遂行し、受閲部隊は出動準備の段階から整齊と装備品を積載するとともに、精神教育等により心の準備を整えつつ、会議やミーティングを重ね、入念に準備をしました。

夜間も気温が高く、厳しい暑さの中での検閲でしたが、受閲部隊は厳しい暑さの中でも士気高く、無事に任務を完遂しました。

大久保駐屯地業務隊

大久保駐屯地では、3年ぶりとなる夏祭り行事が開催され、地域から多くの来場者を得て大盛況のうちに行事が終わりました。

業務隊は駐屯地の縁の下の力持ちとして、多くの事業に携わりましたので、その一端をご紹介します。

管理科は管理・照明班として、夏祭り会場一帯に提灯を配置して風情ある会場演出のほか、足場照明の設置やリーストイレの増設等、快適な会場提供に努めました。

補給科は打ち上げ花火班として、各関係機関の事前点検や花火業者との綿密な調整をして準備を万全にし、打ち上げ成功に貢献しました。

厚生科は公費売店班として、人流・販売商品の考慮と集客スペースを確保した売店配置により、全店が目標の売上げに到達し、大繁盛の成果を取めました。

第 3 施 設 大 隊

第3施設大隊は、令和4年8月下旬、長池演習場において第2次大隊野営訓練を実施しました。

今回の訓練は、大隊検閲に向けた練成訓練であり、野外における一連の状況下で、作戦地域への前進、集結地の占領、指揮所の開設等を演練して、施設技術、任務遂行能力及び指揮幕僚活動能力の向上を図りました。

隊員一人一人が真剣に訓練に臨み、日頃の練成訓練の成果を発揮してそれぞれの任務を達成しました。

その任務達成を各隊員の自信に繋げ、今年度の師団訓練検閲の任務達成を目標とし、本訓練で明確になった不備事項を是正して、師団訓練検閲に向け施設科として任務完遂できるように、大隊長を核とし、明るく、楽しく、前向きに隊員一丸となって前進していきます。

第104施設直接支援大隊

第104施設直接支援大隊第2直接支援中隊は、令和4年7月上旬、大久保駐屯地内及び長池演習場において中隊訓練を実施しました。

本訓練の主眼は、陸士隊員への知識・技術の付与及び練度の向上であり、特殊武器防護歩哨、被拘束者の取扱い及び索敵に関して、それぞれのSOPに基づいた隊員の基礎動作を細分化して教育・訓練しました。

昼間においては駐屯地内で演練し、夜間において演習場で訓練を実施することで訓練参加隊員の理解をより深めるとともに、要領を理解できていない隊員に対しては、資料等を活用することで必要な基礎動作を各隊員に徹底することができました。

訓練間、隊員一人一人が真剣に訓練に臨み、異状なく訓練を終了しました。

本訓練を通じて、明らかになった問題点について次回訓練に確実に反映・改善し、如何なる状況下においても、第4施設団の野整備支援の根幹となるべく更なる練度向上を図っていく所存です。



被拘束者の取扱い(連行要領)



被拘束者の取扱い(所持品検査)



指揮幕僚活動



施設偵察



歩哨による警戒



退避壕の掘削



導爆線回路の構成



地雷の処理

第 3 0 7 ダンプ車両中隊



第3施設大隊と連携して積載



指揮所構築

第307ダンプ車両中隊は、令和4年9月上旬、連日の猛暑日に見舞われる長池演習場において令和4年度小隊訓練検閲を実施しました。

本検閲では、前段は作戦準備、後段は部隊行動と施設作業を焦点に、如何に練度と準備を整え、如何に組織的に行動し、如何に施設技術を発揮して、自主積極的な任務を遂行するかを検しました。

小隊は、一丸となって任務を遂行し、昨年配置された7名の隊員も、2度の団訓練検閲を経て、3度目の訓練検閲となり、施設構築・車両運行それぞれの責務を全うし、成長した姿には頼もしい感じが感じられました。

また、8月下旬の6日間、第3施設大隊との協同訓練において、第3施設大隊渡河交通小隊長の指揮の下、あいは野演習場戦車射撃フラット化整備、戦車射撃の地盤強化等、ダンプ車両の特性を生かした碎石運搬及び敷均しを実施し、本訓練の任務を完了しました。

中隊は、個々のダンプ車両操縦技術、誘導要領などに課題を見出し、各人個癖を矯正して、事後の訓練・輸送任務に生かすべく、日々の練成を強化していきます。

第 1 0 2 施設器材隊



実弾射撃



駐屯地整備 (車両の点検)

第102施設器材隊は、令和4年8月下旬、大久保駐屯地及び長池演習場において令和4年度予備自衛官招集訓練を実施しました。

本招集訓練は、架構中隊が基幹要員の主力となり、予備自衛官延べ89名に対して、実際の状況に留意して訓練を実施しました。

その内容は、「器材隊長による精神教育」「特殊武器防護」「施設基礎作業(連結、土のう作成、LP構築)」「64式小銃の取扱い(分解・結合)」「駐屯地整備」「救急法(隊員自らによる止血)」「実弾射撃」及び「体力測定」です。

また、各種訓練においては、器材隊の若年隊員が教官及び助教を担当して指導能力の向上を図りました。

酷暑の中での招集訓練となりましたが、参加者全員が訓練に真摯に取り組みとともに、新型コロナウイルス感染症対策に留意しつつ、体調管理及び安全管理を徹底し、無事に招集訓練を終えました。

第 4 施設 団本部付隊



至近距離射撃訓練



給水ポイントの設置

第4施設団本部付隊は、体力・気力の向上及び団結の強化を図る目的として全隊員で3kmの持続走記録会を実施しています。

7月中旬での猛暑の中、給水ポイントを設けるなどの熱中症対策のもと、持続走記録会を実施しました。

個々の体力の差は多少あるものの毎月1秒でも記録を縮めるという意気込みで持続走記録会へ挑んでいます。

また、長池演習場基本射場において弾倉交換を伴う至近距離射撃訓練を実施しました。

若年隊員は重い装具と最高気温35度の猛暑の中、時折苦しい表情を見せる場面もありましたが、日々の練成訓練成果を発揮し、安全かつ円滑に射撃訓練を終了し、練度を向上させました。

団本部付隊という特性から、零細時間を活用し、効率的・効果的・継続を力にして、今後も団本部を支える部隊として、業務・訓練等に邁進します。

第 3 9 7 会計 隊



歩哨壕の掘開



至近距離射撃

第397会計隊は、令和4年8月下旬、長池演習場において令和4年度第2回野外訓練を実施しました。

本訓練は、防衛法制及び会計科部隊の支援要領の座学教育及び曹士を主体とした班訓練並びに至近距離射撃能力向上を狙いとし、隊員は第397会計隊長の統率方針である「任務遂行」、要望事項である「連携縦横・関心をもつ」を意識して互いに協力し、訓練に取り組みました。

特に、将来的に予想される事態を想定し、曹士を主体とした1コ班での野外行動及び会計科支援を実行する能力を向上させるため、施設の開設、車両偽装、先行班の行動等について自ら考え行動する意識を涵養させました。

当日は突然の雨や強い日差しの下で普段屋内でのデスクワークが多い隊員達にとっては非常に厳しい条件となりましたが、しっかりと集中力を持って訓練に臨み、全隊員が能力を向上させ、自らの弱点を見直すことができました。

今回の訓練では、今回の訓練以上に創意を凝らし、あらゆる困難を克服して会計科支援を実行させるための識能向上に努めて参ります。

第 3 1 8 基地通信中隊大久保派遣隊



電話機の設置



オンライン指揮所の開設

第318基地通信中隊大久保派遣隊は、令和4年9月上旬、中部方面システム通信群で実施された群集中訓練に参加しました。

基地通信隊の体制移行を見据えた訓練として通信所の運営に関する基本的行動、オンライン指揮所を活用した指揮幕僚活動を練成し、防衛出動時の通信支援として通信支援センターの開設訓練を実施しました。

通信支援センターにおいては、各種システムの構成・開設、電話機の設置により部隊、隊員に対するきめ細やかなユーザ対応を心掛けた。

また、オンライン指揮所を活用して通信支援センターの開設状況についても上級部隊に報告し、基地通信隊員としての能力を発揮して任務達成しました。

派遣隊は、体制移行後も基地システム通信基盤が24時間当たり前に使用できる通信環境を維持できるよう、使用部隊、使用者の皆様への影響を極限にするため部隊の基本的行動、隊員の基礎動作を演練して参ります。

第 3 後方 支援 連 隊



発電機の故障整備



タイヤホイールの予防整備

施設整備隊は、第3師団の隷下部隊が保有している施設器材の整備を担当しています。

整備内容は、定期的に部品交換を実施する予防整備、故障した施設器材の故障原因を特定して修理する故障整備、一般車両と同じ公道を走るため道路交通法に従って保安基準を満たすエンジンやブレーキ、各種ライトや排ガス等の検査を行う保安検査です。

2四半期の主な整備器材は小器材(草刈り機、発電機、洗車機)、07式機動支援橋、道路障害作業車、資材運搬車、中型けん引車です。

07式機動支援橋や道路障害作業車の整備は2年に1回の保安検査を含む整備を実施しました。

少ない人数ながら陸曹、陸士隊員が協力して予防整備から保安検査に続く整備を実施しています。

特に保安検査は民間車両の「車検」にあたり、保安検査をする際も、保安検査のために施設器材を整備する際も整備の要として責任感を持って一生懸命取り組んでいます。

施設整備隊は常に経験と知識を積み上げて整備技術を上させます。

部隊長随筆 最先任の一言



第318基地通信中隊 大久保派遣隊 3等陸尉 尾崎 素子

「モットー」

日頃から基地通信隊に対し、格別なる御支援及び御理解を賜り、心から感謝申し上げます。

私には大きく2つのモットー「めげない、拗ねない、前向き」「やるなら一生懸命」があります。

まず、「めげない、拗ねない、前向き」は、ネガティブ思考に陥り辛いことしか考えられなくなつたとき、心の中での言葉を唱え、強制的に心をリセットし、前向きに、そして前へ進めるよう、思考の転換を行います。

これにより、人に与える印象や職場の雰囲気もよくなり、そして気持ちよく仕事を終えることができると考えています。

挨拶・掃除・諸所の業務に至るまで、与えられたことを一生懸命やるようにしています。

一生懸命というのは人間に与えられた平等のものであり、一生懸命やることでやりがいや達成感、団結力や感謝、時には人を感化することもあります。

失われるものなく、非常に大きなものを生んでくれると考えています。一生懸命にならないと、生まれることも少なく、労力や時間を浪費すると考えています。



第3後方支援連隊第1整備大隊施設整備隊 陸曹長 井田 滋

「社会人として必要なこと」

高校や大学を卒業すると、誰しもが就職して社会の一員となります。

会社等に勤める事になれば研修に参加し、その中でその会社の社員としての基本的な教育があると思えますが、我々自衛官も同じく自衛隊に入隊したならば新隊員教育隊で教育に参加し、自衛官という社会人になる為の第一歩の教育を受け、その中で「自衛官の心がまえ」について学びます。

その「自衛官の心がまえ」は、使命の自覚、個人の充実、責任の遂行、規律の厳守、団結の強化についての解説がされています。

これは自衛官としてどうあるべきかを考える内容でもあり、自衛官として当たり前の事で日頃から実践していくべきことです。

自衛隊は決して一人で仕事ができず、各隊員が使命を自覚し、責任感を持って皆と協力(団結)して任務達成をしなければなりません。

その為には規律を厳守する必要があります。新隊員は後期教育を終了して部隊配置になりますが「自衛官の心がまえ」を実践できるような、一日でも早く部隊に慣れ立派な自衛官(社会の一員)になれるように指導をしていきたいと思います。

新隊員後期教育

第7施設群教育隊(新隊員78名)及び第3施設大隊教育隊(新隊員48名)は、令和4年7月上旬から約3カ月間、4月に入隊した新隊員に対して後期教育を実施しました。新隊員は猛暑とコロナ禍にも負けず、施設科隊員としての基礎知識及び技能を学ぶとともに、同期の絆を深め、切磋琢磨しながら修了式を迎えました。

第7施設群後期教育隊



第3施設大隊後期教育隊



定年退官者紹介



大久保駐屯地業務隊 2等陸佐 松實 勝也 退官 令和4年8月1日



大久保駐屯地業務隊 陸曹長 濱砂 末次 退官 令和4年8月9日



大久保駐屯地業務隊 1等陸曹 中窪 英二 退官 令和4年8月1日



第102施設器材隊本部付隊 陸曹長 宮田 浩武 退官 令和4年8月31日

「菟道(うじ)」 大久保駐屯地漫画喫茶

大久保駐屯地では、この度、WiFiを備えつけた厚生センター内に漫画喫茶「菟道(うじ)」をオープンしました。一般図書と漫画本は、駐屯地曹友会から寄贈されました。



テープカット



隊員の活用風景

大久保駐屯地 Twitter QRコード

編集後記

大久保駐屯地広報紙「やましろ」の愛読の皆様、いつもありがとうございます。今年は、3年振りに駐屯地夏祭りを開催することができ、皆様とお会いできて大変嬉しく感じました。引き続き、コロナ感染症等の対策をしっかりとしながら各種訓練に励んでいきます。最後になりますが、引き続き、大久保駐屯地広報紙「やましろ」に対し、ご支援・ご協力を宜しくお願い致します。